

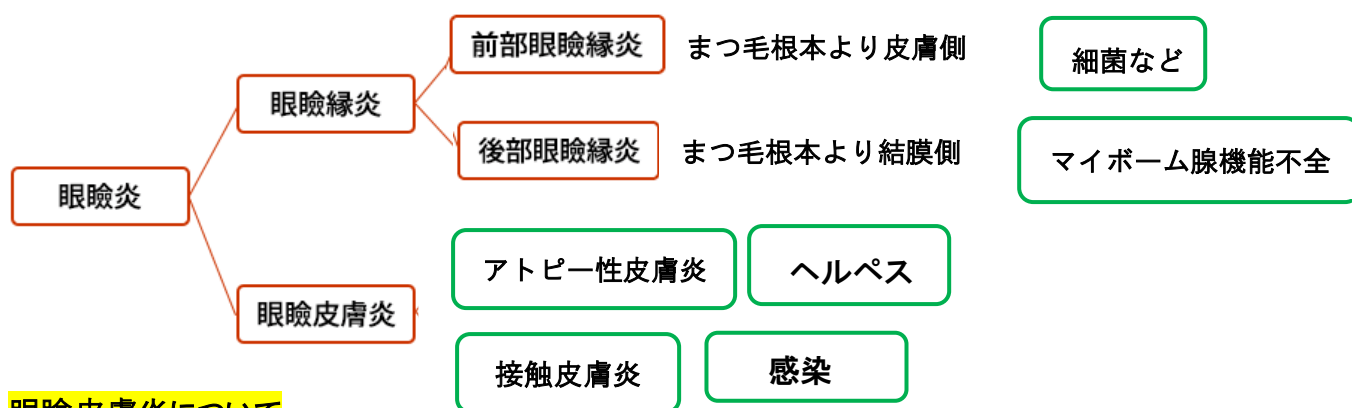
こんにちは！朝晩もだんだんと冷え込んできましたね。今回は眼球を外から守ってくれている働き者、まぶたの不調をきたす眼瞼炎についてお話したいと思います。

眼科豆知識～眼瞼炎① 瞼の腫れる眼瞼皮膚炎～

眼瞼炎の分類

まぶたで炎症が起きている状態を眼瞼炎といい、赤み、腫れ、かゆみや違和感、時には痛みを伴うこともあり、様々なつらい症状がみられます。

眼瞼炎は場所によって、眼瞼皮膚炎と眼瞼縁炎に分けられ、眼瞼縁炎はさらにまつ毛を境に前部眼瞼縁炎と後部眼瞼縁炎に分類され、それぞれ原因や特徴があります。



眼瞼皮膚炎について

眼瞼皮膚炎には、感染性・非感染性のものがありますが両方が関わっていることもあります。

●感染性

ヘルペスウイルスやブドウ球菌などの細菌が原因として多く、目を清潔に保つお手入れや、抗生物質、抗ウイルス薬などによる治療を行います。ヘルペス眼瞼炎は、時に重症化して皮膚科での入院治療が必要になることがあるので注意が必要です。

●非感染性

アトピー性皮膚炎のほか、花粉症や食物アレルギー、化粧品、塗り薬などに対してアレルギー反応を起こす接触皮膚炎などがあります。アトピー性皮膚炎に対しては保湿などのスキンケアやステロイド軟膏を、アレルギーは原因が特定できればそれを避けること、ステロイド軟膏や抗アレルギー薬の服用で炎症を抑えます。

眼瞼炎の治療は慢性化して治りにくいものがあり、急に治療を中止すると悪くなることもありますので、治るまでしっかり治療を頑張りましょう！

今回は眼瞼縁炎の原因、治療やお手入れについてお話します。

院長より皆さまへ

秋晴れが気持ちのよい日が続いておりますが、皆様お変わりございませんでしょうか。食欲の秋、スポーツの秋、運動が苦手な私は、食べる方ばかりになってしまいますが、寒い冬が来る前に、お天気のよい休日は散歩をして運動不足を解消したいと思っています。

皆様もお健やかに、過ごしやすい秋の季節を楽しめますように。

当院では引き続き感染対策に努めてまいります。

どうかこれからも宜しくお願いいたします。

10月のお知らせ

今年は、オリンピックの関係で10月11日(月)は平日となります。通常通り診察しております。

HPにてスタッフブログも更新中です！

